

白河日東工器株式会社



日東工器グループの「省力・省人化機器」の生産を支える主力工場



技術で、人を想う。

白河日東工器株式会社は東証プライム市場上場の「日東工器グループ」の一員です。豊富な設備と専門性の高い技術力で、多彩な製品の生産を行っています。

静にかつ安全にドアを閉める「ドアクローザ」は、オフィスや医療機関、輸送機器など、世界中のさまざまなドアに使用されています。高精度のねじ締めが可能な、電動ドライバ「デルボ」は、パソコンやスマートフォンなどの電子機器や自動車部品の組立など、安定した品質の生産に貢献しています。

「技術で、人を想う。」のスローガンの下、お客さまの視点に立って、モノづくりへの誇りを持って生産をしています。

Top Message

人と環境にやさしいモノづくりを目指す

当社は1979（昭和54）年の創立以来、豊富な技術力によって、社会に貢献する機器の数々を生産し続けてまいりました。

私たちの目指す会社の姿は、使う人の視点に立って作業をスムーズにする「人を想う」技術で、産業界の発展や豊かな人生に貢献することです。社会の新たなニーズを捉え、技術や品質、サービスのレベルを、世界市場からこれまで以上に認めていただくように高めていくのが、私たちの使命と考えています。

これからも日東工器グループの主力工場として、人と環境にやさしいモノづくりを目指し、全社一丸で生産業務に励んでまいります。

代表取締役社長
千葉 隆志



About SHIRAKAWA NITTO KOHKI

白河で磨き上げた高品質と技術力

生産性向上に向けた 「改善力」

全員参加の小集団改善活動で「品質・納期・コストダウン」のさらなるレベルアップを追い求めています。

5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を高水準で維持管理し、部品加工から製品組立、検査、梱包、出荷まで一貫した生産を行っています。



多様な機械設備で 省力化を実践

多様な機械設備を駆使して、お客さまの仕様に合わせたさまざまな製品の加工と組立に対応しています。

また、自社で設計した生産設備や、自動化の推進により、工場全体で自ら省力・省人化を実践しています。

入念な厳しい検査が 高品質の証

世界のあらゆる地域、あらゆる作業環境下にて、100%の機能を発揮するよう品質へのこだわりを持っています。

厳しい環境下での使用を想定して品質の基準を求め、さまざまな作動状況における基本性能のチェックを行っています。



Product Line-up

豊富なバリエーションの製品群で産業界に貢献

詳細は
こちら ▶



建築機器 (ドアクローザ)

ドアを静かにかつ安全に閉めることを可能にする製品で、世界中のドアに使用されています。当社ブランドの「オートヒンジ」は、ヒンジ内部のスプリングと油圧の作用で扉を自動的に閉めることが可能。アームが不要で、すっきりとしたドアを実現します。

用途例 防火扉、オフィスや公共施設のドア、住宅の門扉など



オートヒンジ中心吊型
A-W シリーズ



オートヒンジ丁番型
132L



スライディング
クローザ

AUTO-HINGE

電動ドライバ「デルボ」

パソコン・スマートフォン・プリンタなどの電子機器や、自動車用部品の組立に使用する製品です。小径ねじを高精度のトルク管理で締め付け、安定した品質の生産を実現するため、世界中で使用されています。

用途例 電子機器や自動車部品などの組立

delvo®



ブラシレスデルボ S シリーズ
(速度可変タイプ)

機械工具

鋼材の面取りや研磨など、金属加工に使用するプロフェッショナル向けの製品です。

用途例 建築現場、自動車・航空機・
輸送機器の製造や修理など



電動ミニベベラー
EMB-0307C

NITTO KOHKI GROUP

売上高 252億81百万円 (2022年3月期)
従業員数 1,023名 (2022年3月末)
事業内容 省力・省人化機器の開発・製造・販売

製造拠点(工場) 山形・福島・栃木・タイ
国内営業拠点 東京・大阪・名古屋など 国内18拠点
海外営業拠点 アメリカ・ドイツ・オーストラリア・中国など 海外10拠点

日東工器株式会社

設立 1956 (昭和31) 年10月22日
資本金 18億5032万円
東証プライム市場：証券コード6151
所在地 東京都大田区仲池上2-9-4 (本社・研究所)

主な製品群 迅速流体継手「カブラ」
機械工具
電動ドライバ「デルボ」
ポンプとその応用製品 (医療機器)
建築機器 (ドアクローザ)

白河日東工器株式会社



会社概要

会社名	白河日東工器株式会社
代表取締役社長	千葉 隆志
設立	1979年(昭和54年)12月24日
資本金	9千万円
従業員数	111名(2022年3月末)
事業内容	建築機器(ドアクローザ)、電動ドライバ「デルポ」、 機械工具の製造
株主構成	日東工器株式会社 100%
売上高	25億82百万円(2022年3月期)
所在地	〒961-0017 福島県白河市双石横峯12 TEL: 0248-22-5511 FAX: 0248-22-5512 www.nitto-kohki.co.jp/shirakawa/



白河日東工器
ホームページ

【交通アクセス】

JR東北新幹線 新白河駅(東口)から
タクシーで約15分(約7.3km)

日東工器

社名の由来

日東工器グループ創業者の
技術に対する想いを表現しています。

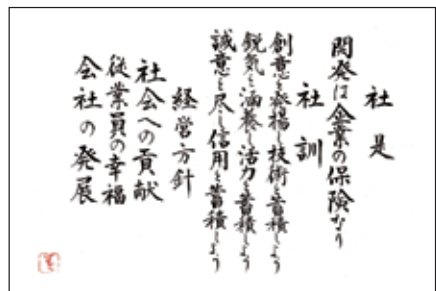
日本の東部にあり、省力化を願った**工具**を作ることを念頭に、創業者の故 御器谷俊雄の名前から一文字を取って名付けられました。

また漢字の会社名表示は、左右対称の文字で構成されています。会社が成長する際、内容が充実し、バランスのとれたユニークな会社になることを願って定めたものです。

社是社訓

社是の「開発」には、「社会に貢献する製品」「販売市場」「人材」「組織管理体制」4つの意味が含まれています。これらの開発に全力を尽すことが、企業としての永続的発展を保障する、すなわち「保険」であるということです。

社 是	開発は企業の保険なり
社 訓	創意を発揚し技術を蓄積しよう 鋭気を涵養し活力を蓄積しよう 誠意を尽し信用を蓄積しよう
経営方針	社会への貢献 従業員の幸福 会社の発展



沿革

1979年	12月	白河デンセイ株式会社として設立
1981年	4月	本操業開始
1982年	4月	ドアクローザ(丁番・中心吊・軽量型)生産開始
1989年	4月	電動ドライバのUL規格取得
1996年	10月	電気用品製造許可を取得
1999年	10月	電動工具部門がISO9001認証取得
2000年	2月	建築機器部門へISO9001認証範囲を拡大
2000年	4月	営業部門、設計・開発部門を統合 日東工器株式会社のグループ会社となり、社名を「白河日東工器株式会社」に変更
2001年	10月	開発部門・営業部門を日東工器株式会社へ移管
2002年	4月	電動ドライバの修理業務を開始
2003年	9月	電動ドライバのCCC規格取得
2005年	6月	TPM チャレンジ賞を受賞
2007年	1月	ドアクローザが優良住宅部品(BL部品)として認定
2011年	2月	ISO14001認証取得
2016年	10月	事務所棟完成
2017年	9月	機械工具部門へISO9001認証範囲を拡大

白河日東工器株式会社

社会 / 地域貢献

私たちは社会や地域の皆さまとともに成長する企業でありたいと考えております。
 新型コロナウイルスに対して、医療機関へマスク、携帯型吸引器の寄贈などを通じて地域社会に寄与しています。
 これからも地域社会とのつながりを大切にまいります。



白河市役所での贈呈式
 (中央：鈴木 和夫 市長)

ISO (品質・環境) 方針

理念

白河日東工器株式会社は、産業界の省力化と作業環境の改善を不変のテーマとし、高品質・高機能・高信頼性の製品づくりを通じて、地球環境の負荷軽減・顧客満足向上を重要課題として、全ての面で社会的責任を果たします。

基本方針

1. ISO(品質及び環境マネジメントシステム)に準じた管理システムを運用し、機械工具(空圧機器、電動機器)及びそれらの周辺機器、建築機器(ドアクローザ、スライディングクローザ、スクリーン開閉器)の製造において製品品質保全を包括した顧客満足向上、環境保全に努めます。
2. 法令の順守や社会的責任を自覚し、環境に与える影響の少ない事業を進めて資源の有効活用と環境への負荷低減を目指します。
3. 事業活動が社会に与える影響を把握し、技術的・経済的に可能な範囲で品質・環境目的・目標を定め、運用し、定期的に内部監査・マネジメントレビューを定期的に行い、品質及び環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
4. 環境活動を通じて、使用電力及び廃棄物の削減と資源の有効利用3Rを推奨します。
 3R (Reduce：ものを大切に使いごみを減らす、Reuse：使えるものは繰り返し使う、Recycle：ごみ資源を再利用する)
5. 企業活動における業務プロセスを明確化し、業務改善を図ります。
6. この方針は文書化し、全従業員に周知徹底すると共に、社外からの求めに応じて公開します。

2021年4月1日
 工場長
 井上 光弘

認証取得 / 受賞



ISO9001認証

品質マネジメントシステムに関する国際規格
 認証機関：JACO (株式会社 日本環境認証機構)
 1999年10月 電動工具部門が認証取得
 2000年 2月 建築機器部門へ認証範囲を拡大
 2017年 9月 機械工具へ認証範囲を拡大



ISO14001認証

環境マネジメントシステムに関する国際規格
 認証機関：JACO (株式会社 日本環境認証機構)
 2011年2月 認証取得



UL規格取得

(米国における製品の安全規格)
 1989年4月 電動ドライバで取得



C-TPM チャレンジ賞

(日本プラントメンテナンス協会より)
 2005年6月 改善活動の成果が評価され受賞